

令和8年度 年間授業計画

教科：国語 科目：古典基礎 単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	標準古典探究（第一学習社）
	補助教材：	基礎から学ぶ解析古典文法四訂版（桐原書店）、みるみる覚える古文単語300（いわずな書店）

教科（国語）の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目（古典基礎）の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

令和8年度 年間授業計画 科目（古典基礎）

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
		話・聞	書	読					
単元 読話一	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
中世の説話を読むために必要な背景知識や既習の文法事項を定着させる。	古文読解の基礎、説話				中世の説話を読むために必要な背景知識や既習の文法事項を定着させる。				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
中世の説話を読むことを通して、先人の感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	古本説話集、十訓抄、古今著聞集			○	中世の説話を読むことを通して、先人の感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
中世の説話を読解を通して学んだことを、さらに深め、自身の言語生活に生かそうとする。	語句調べ、小テスト、課題提出				中世の説話を読解を通して学んだことを、さらに深め、自身の言語生活に生かそうとする。				
単元	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
0	0				0				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
0	0				0				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
0	0				0				
定期考査（中間考査）/返却と解説						○	○	○	2
単元 読話一	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
中世の説話を読むために必要な背景知識や既習の文法事項を定着させる。	古文読解の基礎、説話				中世の説話を読むために必要な背景知識や既習の文法事項を定着させる。				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
中世の説話を読むことを通して、先人の感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	古本説話集、十訓抄、古今著聞集			○	中世の説話を読むことを通して、先人の感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
中世の説話を読解を通して学んだことを、さらに深め、自身の言語生活に生かそうとする。	語句調べ、小テスト、課題提出				中世の説話を読解を通して学んだことを、さらに深め、自身の言語生活に生かそうとする。				
単元 故事・寓話	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項				知識・技能				
漢文の故事・寓話を読むために必要な背景知識や既習の文法事項を身につける。	漢文読解の基礎、故事				漢文の故事・寓話を読むために必要な背景知識や既習の文法事項を身につける。				
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現				
漢文の故事・寓話を読むことを通して、先人の感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	助典、逆筋			○	漢文の故事・寓話を読むことを通して、先人の感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
漢文の故事・寓話を読解を通して学んだことを、さらに深め、自身の言語生活に生かそうとする。	語句調べ、小テスト、課題提出				漢文の故事・寓話を読解を通して学んだことを、さらに深め、自身の言語生活に生かそうとする。				
定期考査（期末考査）/返却と解説						○	○	○	2

1
学
期

